



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

## 2015.3

No.371

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 2014 年 秋 タカの渡り調査結果

日本野鳥の会埼玉 研究部

## ● 研究部主催の調査から

研究部では毎9月末に、会員の皆様と共にサシバ、ハチクマなどのタカの渡り調査を行っています。今回は、9月28日(日)に中間平(寄居町、担当:千島康幸)と天覧山(飯能市、担当:佐久間博文)の2カ所で行いました。その結果を下の表に示しました。2カ所でサシバ31羽、天覧山でハチクマ1羽が観察されたほか4種類のタカ類が観察されました。調査には31名の方々にご協力いただきました(参加者名は2月号に掲載)。ありがとうございました。

観察場所	天候	時間	観察された個体数		その他のタカ類	参加者
			サシバ	ハチクマ		
中間平緑地公園(寄居町秋山)	晴	07:45~14:30	1	0	ツミ2、ノスリ、トビ、ハヤブサ	16名
天覧山(飯能市飯能)	晴	07:30~14:00	30	1	ノスリ1	15名

## ● 2014 年秋・県内各地のタカの渡り状況

研究部主催の調査は上記の2カ所1回のみですが、これとは別に天覧山、中間平、さいたまー蓮田市境の3カ所で、多くの会員の皆様が、あるいは当会以外の団体の方々、シーズン中はほぼ毎日のようにタカの渡りの観察を続けています。このうち、さいたまー蓮田市境で行われた観察については、本誌2014年12月号で報告されています。中間平については右ページに紹介いたします。天覧山についてはインターネットで公開されています。

そこで今回は、この3カ所の観察結果を比較してみたいと思います。

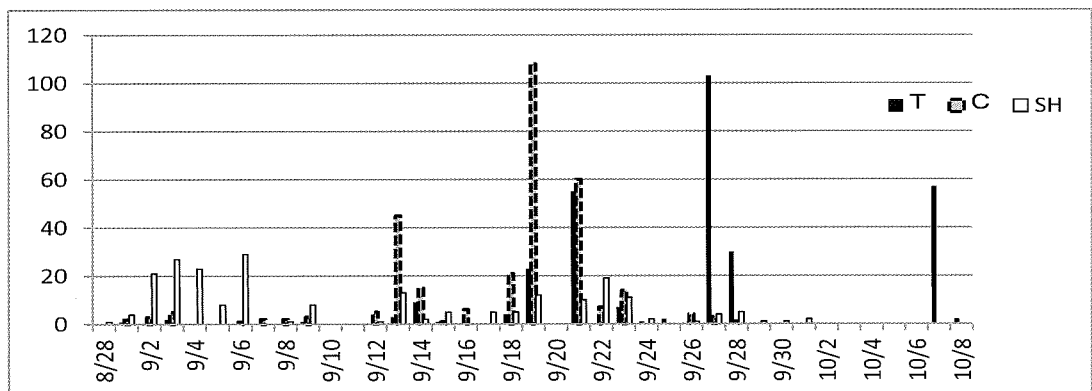
なお、天覧山のデータは、「天覧山タカ渡り観察グループ」大塚隆廣氏のご厚意により、ウェブサイト『Hawk Migration Network in Japan』で公開された記録を使用させていただきました。心より御礼申し上げます。

### <県内のタカの渡りポイント3カ所の比較>

2014年8月下旬~10月上旬に天覧山(T)、中間平(C)、さいたまー蓮田市境(SH)で観察されたサシバの個体数をグラフに表しました(ハチクマ、ノスリは省略)。

最も早く9月初旬に渡りのピークを迎えたのがSH、次いでCの9月中旬。Tのピークは遅く9月下旬から10月初旬。この傾向は2013年にも見られました。

またT、Cでは数十~百羽以上が1日に集中する顕著なピーク(いわゆる“サシバ・デー”)が何回か現れるのに対し、SHでは顕著なピークは見られず、20羽前後が数日間続けて現れると



いうパターンを示すことが分かりました。平野部のSHは、丘陵地帯から山間部のT、Cとは異なる特殊なポイントと言えそうです。

これからは県内、特に県央部の新たなポイント探しと共に、各ポイント間や周辺各県との情報交換も重要になってきます。謎とロマンがいっぱいの「タカの渡りルート解明」、あなたも参加しませんか？

## 中間平タカの渡り 2014 観察結果

千島康幸(小川町)

2014年は8月31日から10月4日までに31日観察を行い、サシバ 308羽、ハチクマ 19羽の渡りを見ることができました。2013年は8月31日から10月6日まで25日で、サシバ 87羽、ハチクマ 9羽。2009年から2012年までは休日だけの観察で、サシバが2009年 53羽、2010年 161羽、2011年 153羽、2012年 23羽でした。ここ2年間は低調で心配していましたが、今年は復調してくれました。何が原因なのか分かりませんが、その年の気候等が影響してコースが変わることがあるのかもしれない。

観察された期間は、2013年はサシバ9月9日～9月30日、ハチクマ9月9日～9月29日。2014年はサシバ8月31日～9月28日、ハチクマ9月2日～9月21日でした。サシバで9日早くなっていました。もっと前から観察を始めればもっと早いかもしれません。

渡り数の多い上位2～3日は、2009年①10月4日 26羽、②9月22日 9羽。2010年①9月25、26日 53羽、③9月29日 38羽。2011年①9月24日 130羽、②9月19日 12羽。2012年①9月8日 7羽、②9月16、29日 4羽。2013年①9月18日 22羽、②9月27日 17羽、③9月17日 12羽。2014年①9月19日 108羽、②9月21日 60羽、③9月13日 45羽。ピークが年々早くなっている傾向があります。

今年の天覧山の結果をみると、明らかに中間平とは違う結果になっています。東北から

関東の太平洋側を南下するサシバで、天覧山で観察される群れは、より南側を通過しているものと考えられます。

一日のうち何時頃が多いかは、2014年で見ると①12時台 61羽、②10時台 56羽、③11時台 50羽、④8時台 48羽で、渡ってくるものは10時から13時が多く、前日までに周辺に到着していたものは8時から9時に飛び立っています。

現れたものの渡らなかつたサシバもいます。これを非渡りのサシバと呼んでいます。非渡りのサシバは中間平に何日か滞在してから渡っていつています。その数は、2013年は渡り 87羽・非渡り 81羽、2014年は渡り 308羽・非渡り 100羽。中間平が寄居町から釜伏山・登谷山に至る稜線上にあり、緑地公園になっていて森、草地、畑、梅林があり、バッタやカマキリが多く生息することから、非渡りのサシバはこれらを捕食して体力をつけ渡っていつていると考えられます。

サシバやハチクマ以外にも、ノスリ、トビ、クマタカ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、ミサゴが観察できました。特にクマタカ若鳥は2012年に初めて1回出現し、2013年は4回、今年は3回出現しています。

2015年度以降も観察を続け、より内容のあるものにしていきたいと思っています。

(観察者 石松康幸(一般)、中村博文、桜井正純、千島康幸、他)

◆昨年11月16日にさいたま市見沼自然公園で開催した「会員を増やすための探鳥会」について、ご報告いたします。

「会員を増やすための探鳥会」は、(公財)日本野鳥の会(本部)普及室と共催で、関東近県の各連携団体とともに行うイベントで、会員でない方にバードウォッチングを体験していただき、入会の機会に結びつけようとするものです。

◆昨年7月の役員会で参加が決まり、普及部が担当することになりました。メインリーダーは入山博、サブリーダーは相原修一、青木正俊、浅見健一、浅見徹、小林みどり、柴野耕一郎、吉原俊雄、吉原早苗、山部直喜、事務方は長野誠治と青木(兼務)です。

開催時期は寒くならない11月中旬の日曜日とし、開催場所は、それほど歩かずに園内を回れて、池ではカモ類を近くで観察できる見沼自然公園にしました。

新聞社へFAXを送ったところ、東京、読売、埼玉の3紙に開催記事が掲載されました。さぎやま記念公園の「みぬま秋フェス」で、藤掛代表らにチラシを配っていただきました。

通常の探鳥会でも初めての参加者には名札兼緊急連絡カードとカードフォルダーを配布していますが、今回は青木リーダーの奥様のアイデアでフォルダーの中に赤いリボンを入れて遠くからも目立つようにしました。

◆当日の天候は晴れ時々曇りで風も弱く、探鳥会日和になりました。スタッフは本部の2名を含めて総勢15名。見沼自然公園は道路からの入口が分かりにくいので、誘導係の吉原(俊)と山部の両名がメジロの着ぐるみ姿で会の旗を振って強烈にアピール、これだけでも一見の価値があるという声も。

参加者は13名で、最年少は2歳の女の子。入山リーダーの挨拶と説明の後、池に移動してカモを観察しました。肉眼でも比較的に見やすい距離の鳥たちをさらにスコープで“どアップ”に。参加者一同、その迫力に驚いていました。後半はメジロやカワラヒワ、シジュウカラ、カシラダカなどの小鳥をじっくり観

察しました。約1時間で野鳥観察は終了。鳥合わせをして解散しました。リーダーのきめ細やかな対応で、参加者の満足度も高かったようです。お試し入会1名、このイベントをきっかけに事前に入会して参加した人1名、入会意向の人1名でした。

◆今回は初めての経験で試行錯誤することも多かったのですが、今後も同様なイベントを継続的に開催することで一人でも多くの方々にバードウォッチングの楽しさを感じていただき、会員の増加につなげていきたいと考えています。

### 中禅寺湖足尾松木溪谷探鳥会

内田克二(さいたま市)

2014年11月30日、濃霧のため東北自動車道の一部区間が閉鎖。足尾松木の砂防ダムに着いたのは、予定より1時間遅れの10時半。

ダム周辺はアシ原が広がり、川の流れもあり、遠く山がそびえ、今日はイヌワシが出るぞという雰囲気であった。アシ原ではホオジロ、ジョウビタキが見られ、ベニマシコの声も聞こえる。しかし残念ながらイヌワシは姿を見せない。川ではカワガラスが採餌中。

ここは40分で切り上げて、中禅寺湖畔のボートハウスへ。今日は“いろは坂マラソン”の交通規制が実施されるとのことで、その前にいろは坂を通過しておかなければならない。

ボートハウスで食事と探鳥。ハウスの近くではエナガとゴジュウカラがお出迎え。湖上ではハジロカイツブリ12羽の行進が特に目を引いた。もちろんオオバンやキンクロハジロ、ホシハジロ等も楽しませてくれた。その後赤沼情報センターでバスを乗り換えて千手ヶ浜へ移動。

湖ではカイツブリやホオジロガモ、ホシハジロ、カワアイサが迎えてくれた。川沿いをさかのぼると、遠くの枯れ木の枝にオジロワシが止まっていた。やっと会えてホッとす。帰りのバス停に向かう途中でアオゲラが見送ってくれて、満足のいく探鳥会であった。



## 野鳥情報

**さいたま市桜区・西区の鴨川** ◇10月28日、植田谷堰の近くで居残りヒドリガモ1羽を観察中、イタチが1匹、目の前の草地を素早く突っ切り藪の中へ。10月31日夕方、植田谷堰下流でコガモ26羽、カルガモ6羽十、オナガガモ♂換羽中1羽、ヒドリガモ♂エクリップス1羽、カイツブリ5羽、バン2羽、アオサギ4羽、ダイサギ3羽、コサギ2羽、カワウ、カワセミなど。植田谷堰上流でマガモ♂6羽♀4羽、カルガモ、コガモ、オオバン4羽、バン成鳥4羽幼鳥1羽、カイツブリ2羽、ハヤブサ2羽など。至る所でジョウビタキとモズが鳴き、ヒヨドリやムクドリも賑やか（大塚壮一・純子）。

**蓮田市黒浜** ◇11月30日、黒浜沼でベニマシコ♀2羽、アリスイ、シメ、ジョウビタキ、アオサギ、カンムリカイツブリ1羽。クイナが道に出てきて楽しませてくれた（本多己秀他3名）。◇12月3日、黒浜沼でシメ、オオジュリン、ジョウビタキ、カケス。キジ♂が日を浴びて美しい。渡って来たばかりか、ツグミがまだ木からおりてこない。12月30日、黒浜沼でマガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オオバン。アシ原でオオタカ、オオジュリン。そして何とタヌキ、全身をカイセンに冒されてかわいそう（本多己秀・久文字）。◇12月22日午前11時頃、黒浜沼近くの一カ所でスズメとカシラダカが多く群れていた。15分位観察しているとツグミ、ジョウビタキ♀、ホオジロ、アオジ、シメ、シジュウカラ、コゲラ、メジロ、ヒヨドリと次々に現れ、最後には、アトリまで見られた（菊川和男）。◇12月31日、チョウゲンボウ♂1羽が地上のノスリに何度も急降下で攻撃を仕掛ける。アシ原でオオジュリン、アトリ2羽。東埼玉病院近くでアトリ約10羽（鈴木紀雄）。

**北本市北本自然観察公園** ◇12月14日、シメ、ジョウビタキ、ルリビタキ♀、カワセミ、シロハラ。カシラダカの群れが木に鈴なりにとまっていた。帰り道、田んぼの木にミ

ヤマガラスがこれまた鈴なりにとまっていた（本多己秀・久文字）。

**蓮田市西城沼公園周辺** ◇12月18日、数羽のハシブトガラスに追われたノスリ若鳥が林床に降り、カラスが頭上の枝で威嚇するが、うずくまってジッと耐えていた。12月20日、農家の裏林でコジュケイ2羽を久しぶりに発見。♂♀を願いながら観察したが、2羽とも♂だった。残念！ 12月30日、ヒヨドリ16羽が畑でホウレンソウを採餌。以前はホウレンソウを食べなかったのに…。1月3日、西沼が珍しく全面結氷。東沼にカルガモ24羽、結氷なし。ヒヨドリ30羽十がブロッコリーの葉を採餌（長嶋宏之）。

**深谷市本田 N36.1378 E139.3067** ◇12月19日、ホオジロガモ30羽十、コガモ、タヒバリ、イカルチドリ、イソシギ、ジョウビタキ♀、ツグミ、シメ、モズ、ホオジロ、カシラダカ、ノスリ、オオタカなど（長嶋宏之）。

**さいたま市西区三橋** ◇12月17日、三橋総合公園の東側の鴨川でヒドリガモ♂8羽♀11羽、青草に覆われた土手で採餌。近くのアシに囲まれた池でヒドリガモ♂1羽♀2羽、オオバン3羽（大塚純子）。

**さいたま市桜区神田** ◇12月17日、鴨川排水機場付近の左岸寄りでコガモ40羽十、マガモ20羽十など（大塚純子）。

**久喜市久喜菖蒲公園** ◇12月21日、トモエガモ♂2羽♀2羽、ヨシガモ♂3羽♀1羽、キンクロハジロ、ホシハジロ、オナガガモ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ（過去7年で初めて）、セグロカモメ、オオバン、バンなど（長嶋宏之）。

**さいたま市桜区上大久保** ◇12月22日夕方、三方をマンションに囲まれた調節池でカルガモ6羽、マガモ♀2羽、コガモ♂2羽♀3羽（大塚純子）。

**さいたま市桜区田島** ◇12月23日、鴨川の昭和水門下流でヨシガモ♂10羽♀9羽、カルガモ13羽、セグロカモメ1羽など。鴻沼川との合流付近で白い繁殖羽が目立つカワウ1羽、イソシギ1羽、オオバン6羽（大塚純子）。

**川口市行衛芝川第一調節池** ◇12月25日午前9時、コハクチョウ成鳥2羽。昨日朝飛来とのこと。私にとって素晴らしいクリスマスプレゼント。12月29日、オオハクチョウ2羽飛来。昨年より3日遅い。コハクチョウも2羽飛来。他にトビ(ここでは珍客)。チュウヒ(春までいる)。ハヤブサは、一番高い鉄塔で。ミコアイサ♂4羽♀8羽、セグロカモメ、ユリカモメなど(野口 修)。

**さいたま市中央区八王子5丁目** ◇12月26日、かやのき団地にキセキレイ1羽飛来。この地域は低地で水路が多く、通年ハクセキレイをよく見かけるが、たまにキセキレイが訪れることもある(大塚純子)。

**松伏町緑の丘公園** ◇12月26日、ミコアイサ♂♀、昨冬は♀1羽だけだったので、よくぞ来てくれました。♂の白い羽とパンダの顔、本当にきれいです。ただ人見知りするせいか近くには来てくれません。他にマガモ、コガモ、カルガモ、ヒドリガモ、カイツブリ、カワウ、オオバン、サギ類、カワセミなど(遠山和夫)。

**白岡市西 N36. 0130 E139. 6496** ◇12月31日、元荒川の八幡橋下流でイカルチドリ2羽、ダイサギ2羽、コサギ1羽、バン2羽、カイツブリ2羽、セグロカモメ1羽、カワラヒワ5羽、他にカルガモ、コガモ多数(長嶋宏之)。

**白岡市下大崎 N36. 0323 E139. 6392** ◇12月31日、元荒川の根金橋上流でイソシギ2羽、タシギ1羽、イカルチドリ1羽、バン1羽、オオバン2羽、セグロセキレイ2羽、ハクセキレイ2羽、モズ3羽、ホオジロ1羽、ツグミ3羽、ノスリ1羽、他にカルガモ、コガモ多数(長嶋宏之)。

**戸田市道満グリーンパーク** ◇12月31日、カワセミ♂♀、池の岸を4~5回往復。途中、柳の巨木の根本の横枝にとまり、順光を浴びて、背と腹の美しい色を堪能させてくれた。バン、オオバン、カワウ、モズ♂、ツグミ、ハクセキレイなど(陶山和良)。

**戸田市彩湖** ◇12月31日、右岸北端の貯水池 機場付近でキンクロハジロ、ホシハジロの混群55~60羽。オオバン30羽程の群れが3

カ所に分散。ハジロカイツブリ1羽、セグロカモメ1羽、カンムリカイツブリ7羽、ユリカモメ10羽。枯れアシの上の小枝にベニマシコ♀4羽。しばらく待ったが、♂は現れず。その代わりにジョウビタキ♂が出現(陶山和良)。

**白岡市柴山 N36. 0418 E139. 6111** ◇12月31日、電線にミヤマガラス19羽。成鳥だけで若鳥はいなかった。近年この辺りのミヤマガラスの群れは小さくなった(長嶋宏之)。

**久喜市菖蒲町小林 N36. 0647 E139. 5805**

◇12月31日、電線にニューナイスズメとスズメ、カワラヒワの混群が200羽±。100mほど離れた電線にニューナイスズメ50羽±(長嶋宏之)。

**蓮田市黒浜~さいたま市岩槻区上野** ◇12月31日、元荒川の城北大橋上流約500m地点で川堤と工場敷地内で別々に採餌するシラコバト各1羽。細々と生き残っている感じ(鈴木紀雄)。

**毛呂山町下川原** ◇1月1日午後1時25分、星宮神社近くの道路ぎわに5本ある梅の木の枝に、シロハラ2羽。暫くして神社方向へ1羽が鳴きながら飛ぶと、もう1羽も追いかけて飛ぶ(増尾 隆)。

**さいたま市見沼区膝子・緑区上野田** ◇1月1日、小さい用水で採餌するタシギ1羽。田んぼでミヤマガラス200羽±(鈴木紀雄)。

**さいたま市岩槻区高曾根** ◇1月2日、用水でクサシギ1羽、タシギ2羽、アオサギ50羽±。1月25日、鳴き声を頼りにケリ3羽を確認。このまま越冬し、やがて繁殖に入るのか? タヒバリ多数、ヒバリも多い。アオサギ約50羽が散在(鈴木紀雄)。

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇1月2日、アキニレの木にウソが16羽も。びっくり! 茂みの数ヶ所にアカハラとシロハラ。カケスとカワラヒワが多い。他にシメなど(本多己秀・久文字)。

#### 表紙の写真

#### スズメ目アトリ科ウソ属ウソ

1月17日(土)、岩槻文化公園で、まだ残っていたアキニレの実をついばんでいました。

榮 武男(春日部市)



## 行事案内



ヒレンジャク

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

**参加費**：未就学児無料、会員と小中学生50円、一般100円。

**持ち物**：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻**：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

3月は鉄道・バスの時刻表変更があります。この案内は、執筆当時の時刻表に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください。

小鳥たちが勢揃いして待っています。雀宮公園から玉淀河原までは、春風とともに心地よい鳴声が聞こえてきます。鉢形城跡まで歴史と自然を歩きましょう。

### 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3月1日(日)

集合：午前8時45分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。または午前9時、環境学習館前。

担当：玉井、青木、内田、榎本(建)、小林(み)、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、菱沼(洋)、星野、吉安

見どころ：風はまだ冷たいけれど、春の兆しが訪れています。鳥たちは北への帰り支度が始まり、ウグイスのさえずりなど恋の季節も訪れます。春の兆しを、道端の早春の野の花と併せて探しましょう。

ご注意：車の方は、“緑のトラスト保全第11号地 黒浜沼駐車場”をご利用ください。

### 寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月1日(日)

集合：午前9時30分、寄居駅南口駅前広場。  
交通：秩父鉄道熊谷8:52発、または東武東上線川越8:18発で小川町乗り継ぎ。

担当：茂木、井上、鶴飼、堀口、松下

見どころ：町中から荒川沿いには春を告げる

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月8日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。  
交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:50 発に乗車。

担当：新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：まだ主役は冬鳥ですが、ウグイス、ヒバリのさえずりも聞こえることでしょう。今年こそ久々のレンジャクの群れに出会いたいものです。

### 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：3月8日(日)

集合：午前8時40分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部8:14→久喜8:27→花崎8:34。またはJR宇都宮線大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、石川、植平、菊川、竹山、星野、渡邊

見どころ：冬の間、楽しませてくれたジョウビタキやカシラダカ、シメなどの冬鳥たち

は、遠い故郷への旅に備え始めていること  
でしょう。そんな小鳥たちを、春の兆しを  
感じる公園で探しましょう。トイレは3カ  
所あります。

### さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3月14日(土)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こり  
すのトトちゃん」像前。または午前9時15  
分、見沼自然公園駐車場南側のベンチ付近。  
担当：浅見(徹)、赤堀、浅見(健)、工藤、小  
林(み)、柴野、野口(修)、山田  
見どころ：今年で6回目の「見沼たんぼクリ  
ーン大作戦」に参加します。公園周辺の農  
耕地や里山で身近な野鳥を観察しながら  
ゴミ拾い。きれいな見沼を守るため、みん  
な集まれ〜！ お持ちの方は、ゴミ拾いト  
ングをご持参ください。ゴミ袋と軍手は、  
市から支給されます。

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月15日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東  
口。集合後路線バスで現地へ（ご注意：案  
内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定で  
す）。または午前9時、さいたま市立浦和博  
物館前。  
後援：さいたま市立浦和博物館  
担当：須崎、青木、赤堀、浅見(健)、浅見(徹)、  
石塚、楠見、小菅、小林(み)、柴野、新部、  
島山、増田  
見どころ：冬の寒さも一段落。鳥見散歩に最  
適な時期です。留鳥は繁殖に向けて、冬鳥  
は旅立ちに向けて大忙しです。賑やかな見  
沼たんぼを散策します。

### 松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月15日(日)

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車  
場。  
交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口①番バス乗  
り場から、茨急バス8:57発エローラ行きで  
「松伏高校前」下車。道路の反対側が集合  
場所の駐車場です。  
担当：田邊、植平、榎本(建)、佐藤、佐野、

進士、野村(修)、野村(弘)、橋口、森下、  
吉岡

見どころ：なんの変哲もない調整池と幾つか  
の運動場で構成された公園と、その周辺の  
農耕地を歩く探鳥会ですが、最近は住宅建  
設の波に押されて、目玉だったシラコバト  
やサギ類が減少しています。それでも季節  
の移ろいに敏感な渡り鳥たちがもう入れ替  
わり始めています。冬鳥にお別れと、夏鳥  
に歓迎の挨拶をしに松伏においでください。  
昨年のようなサプライズ(珍鳥出現)があ  
るかもしれませんよ。

### 坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月21日(土・祝)

集合：午前8時、東武越生線川角駅前。  
交通：東武東上線川越7:20(準急)→坂戸で越  
生線乗り換え7:40発。または寄居6:44→小  
川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR  
埼京線大宮6:37→川越で東武東上線乗り換  
え。  
担当：山口、久保田、志村、鈴木(秀)、高草木、  
藤掛、藤澤、増尾、持丸  
見どころ：高麗川沿いを歩く春の探鳥会です。  
冬鳥も残っています。城山橋付近ではオオ  
タカなどの猛禽が飛んでくれるでしょう。  
足元には春の草花が咲き、きっと気持ちの  
良い一日になりますよ。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月21日(土) 午後3時～4時ころ  
会場：会事務局 108号室

### 栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月22日(日)

集合：午前9時25分、東武日光駅前。集合  
後路線バスで「総合会館前」まで移動。  
交通：東武春日部7:44発スカイツリーライン  
快速→東武日光9:22着、または東武栗橋  
7:57発新栃木行→板倉東洋大前で8:11発  
「快速」東武日光行きに乗り換え、東武日  
光9:22着。  
解散：午後2時ごろ、神橋付近で。  
担当：浅見(徹)、植平、佐藤、佐野、玉井



見どころ：埼玉の平野部ではなかなかお目にかかれないカワガラス、ミソサザイ、キバシリなどを求めて、沢沿いの道を登ります。昨年はクマタカが飛びました。残雪の多い年もあります。足ごしらえはしっかりと。雪原でお弁当を食べることになるかもしれません。断熱性の敷物があると快適です。スタートから解散まで、途中にトイレがないのがちょっときついコースです。

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月22日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越 8:42 発、所沢 8:39 発に乗車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、久保田、鈴木(秀)、高草木、中村(祐)、星、藤掛、水谷、山口、山本

見どころ：3月は毎年恒例となっているツバメとカタクリを見る探鳥会です。空を見上げてツバメを探し、足元に咲く春の草花を愛でましょう。

### 行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月29日（日）

集合：午前9時30分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR 高崎線吹上駅北口から、朝日バス 8:47 発、佐間経由行田折り返し場行きで「産業道路」下車、徒歩約 15 分。または JR 行田駅東口から、行田市内循環バス・観光拠点コース左回り 9:05 発で「埼玉古墳公園前」下車、徒歩約 2 分。

担当：相原(修)、相原(友)、大坂、岡安、内藤、竹山、立岩、野口(由)、村上、茂木

見どころ：さきたま古墳公園から古代蓮の里まで旧忍川沿いを約 3.5km 歩きます。川沿いではオオジュリンなどやクイナ類、行田浄水場の池では帰る前に集結したカモたちの群れに期待します。

### 加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：3月29日（日）

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7:21→春日部 7:35→栗橋 7:57→柳生 8:06 着。または JR 宇都宮線大宮 7:03→栗橋 7:38 着で東武日光線に乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：佐野、植平、佐藤、進士、田邊、玉井、野口(修)、茂木、山田

見どころ：ヨシ焼きが終わった遊水地は谷中湖の干し上げも進んでいます。気の早いツバメとベニマシコと一緒にみられるかも。

その他：当日はヨシ焼きの第3候補日(第2予備日)です。ヨシ焼き実施の場合は、探鳥会は中止です。予めご了承ください。

ヨシ焼き実施状況は「平成27年渡良瀬遊水地ヨシ焼き」でサイトを検索して確かめるか、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 0282-62-1161、利根川上流河川事務所藤岡出張所 0282-62-2142、加須市北川辺総合支所環境経済課 0280-61-1205 などにお問い合わせください。

### 茨城県・浮島～小見川探鳥会（要予約）

期日：5月5日（祝・火）

集合：午前7時、東武春日部駅東口。

解散：集合場所で午後10時ころの予定。

交通：集合地から貸し切りバスを利用。

担当：入山、植平、佐野

費用：7,000円（バス代、保険料等）。過不足の場合は当日清算。

定員：23名（応募者多数の場合、先着順）最少催行人数は17名。

申込み：往復はがきに住所、氏名、年齢（保険加入に必要）、電話番号を明記して入山博（ ）まで。3月1日消印から受付開始。

見どころ：午前中は、稲敷市の浮島でツルシギ等のシギたちを観察します。夕方、神栖市の小見川で1000羽を超えるチュウシャクシギのねぐら入りを観察します。シギがわからないな～と思う人、大歓迎です。

その他：雨天決行。昼食・雨具持参。



## 行事報告

10月5日(日) さいたま市 民家園周辺

雨のため中止。(須崎 聡)

10月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 41名 天気: 曇

カルガモ キジバト トビ ノスリ アリスイ  
コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ シ  
ョウドウツバメ ツバメ ヒヨドリ エナガ メ  
ボソムシクイ メジロ ムクドリ エゾビタキ  
キビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ ホオジロ (26種) (番外: ガビチョウ) 土手  
を歩いていたら、最後尾でアリスイを見た  
との話。全員で見られず残念。ヒヨドリ  
の群れが移動し、カケスが飛んでいた。  
ノスリ1羽が高空を渡っていき、もう1  
羽はホバリングして餌を探していた。シ  
ョウドウツバメの群れがノスリにモビ  
ングしていた。グラウンド端の木でエ  
ゾビタキ。鳥合わせの時、藪の中で  
キビタキが地鳴き。早だった。メ  
ボソムシクイも現れた。(千島康幸)

10月18日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 45名 天気: 晴

キジ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシ  
ビロガモ オナガガモ シマアジ コガモ  
ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ  
カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ  
キジバト コウノトリ カワウ アオサ  
ギ オオバン クサシギ ミサゴ ハチク  
マ トビ チュウヒ ノスリ ハヤブサ  
モズ カケス オナガ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス シジュウカラ ヒ  
バリ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ  
ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ  
セグロセキレイ カワラヒワ ホ  
オジロ (41種) (番外: ドバト) エクリ  
プスの多いカモを観察しながら東谷  
中橋まで行き、一休みしていると何と  
コウノトリが出現!! 見られたのは  
2~3名だったが、豊岡からはるばる  
訪れていた数羽が、立ち寄ったよう  
だ。また訪れてくれる日がそう遠  
くないことを期待したい。(佐野和宏)

10月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 11名

相原修一、宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海  
老原美夫、大坂幸男、佐久間博文、志村佐治、藤  
掛保司、増尾隆、松村禎夫

10月19日(日) 川越市 西川越

参加: 40名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ  
キジバト カワウ アオサギ ダイサギ  
イカルチドリ イソシギ トビ カワセ  
ミ コゲラ チョウゲンボウ モズ  
カケス オナガ ハシボソガラス  
ハシブトガラス シジュウカラ  
ヒヨドリ メジロ ジョウビタキ  
スズメ ハクセキレイ セグロセ  
キレイ カワラヒワ シメ ホオ  
ジロ (29種) (番外: ドバト) 集合  
後、公園へ。池では来たばかりの  
ヒドリガモ、コガモ、そしてカ  
ワセミが出てくれた。土手に出  
て関越道の方へ。入間川でイ  
カルチドリ、イソシギなどを見  
て下流へ。天気が良いのに、猛  
禽はトビとチョウゲンボウの  
み。終わりの方でようやくカ  
ケス、来たばかりのジョウ  
ビタキが見られた。(佐久間博文)

10月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 60名 天気: 晴

コジュケイ キジ カルガモ コガモ  
カイツブリ キジバト カワウ  
ゴイサギ アオサギ ダイサギ  
コサギ バン オオバン ツミ  
オオタカ カワセミ コゲラ  
チョウゲンボウ モズ カケス  
ハシボソガラス ハシブト  
ガラス シジュウカラ ヒバリ  
ヒヨドリ ムクドリ スズメ  
ハクセキレイ セグロセ  
キレイ カワラヒワ ホオ  
ジロ (31種) (番外: ドバト)  
スタートして早々と芝川に  
ダイサギが1羽。しばらく歩くと  
「猛禽!」の声。オオタカが青  
空に舞っていた。やがて高度  
を下げ、目の前の鉄塔に止まる  
幸運! 参加者全員じっくり観  
察した。芝川に再び戻るとカ  
モ類やサギ類、バン、カワセ  
ミも出て三室の常連組総出演。  
(須崎 聡)

10月25~26日(土~日) 長野県 戸隠高原

参加: 27名 天気: 晴

キジ オンドリ キジバト アオバト  
オオバン トビ オオタカ  
コゲラ アカゲラ アオゲラ  
ハヤブサ モズ カケス  
ハシブトガラス コガ

ラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ  
ウグイス ムギマキ エナガ ゴジュウカラ キ  
バシリ マミチャジナイ シロハラ アカハラ  
ツグミ ジョウビタキ スズメ アトリ カワラ  
ヒワ マヒワ イカル ホオジロ カシラダカ  
アオジ (37種) 植物園入り口付近でマミチャジ  
ナイやアトリがお出迎え。幸先の良いスタート。鏡  
池へのコース途中で多くのカメラマンに遭遇。ム  
ギマキが見られるとのこと。しばらくすると姿を  
現し、全員で観察できた。早々と目玉の2種を見  
ることができた。鏡池での昼食後は、再びムギマ  
キ3羽と遭遇することができ、この日のフィナー  
レを飾った。翌日、朝食前に宿周辺を散策した。  
上空を何回かアオバトの群れが通り過ぎ、ジョウ  
ビタキやイカルにも出会えて近年になく楽しめた。  
植物園ではムギマキ、キバシリ等を観察し、昼食  
のためキャンプ場へ移動。ここでも、マミチャジ  
ナイをたっぷり観察できて皆さんご満悦だった。  
(観察種には宝光社近辺も含む)。 (菱沼一充)

10月26日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加：34名 天気：晴

キジ マガモ カルガモ コガモ キジバト カ  
ワウ アオサギ ダイサギ クイナ バン オオ  
バン オオタカ カワセミ コゲラ アカゲラ  
モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラ  
シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メ  
ジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセ  
キレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ  
アオジ (32種) (番外：ドバト) 開始直後の古民家  
ではセグロセキレイ2羽が飛び回る。公園内の林  
ではアカゲラなどが現れ、モズの高鳴きがあちこ  
ちで聞こえる。林を抜けるとジョウビタキが現れ、  
皆でじっくりと観察。旧忍川に向かう。カラスの  
大群がいたが、残念ながらミヤマガラスはいな  
かった。川ではダイサギ?の死骸の背に乗るカメの  
姿に自然の厳しさを感じる。一方で元気なコガモ  
にまじり繁殖羽に変わったマガモ♂が見え隠れし、  
バン、オオバン、クイナと3種そろい踏み。上空  
には悠然とオオタカが舞う。旧忍川沿いを歩き公  
園に戻る途中でキジが鳴き、最後にはアオジが  
あられて探鳥会を締めくくった。 (相原修一)

11月1日(土) 上尾市 丸山公園

参加：16名 天気：小雨

マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワ  
ウ コサギ ハイタカ カワセミ コゲラ モズ  
カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジ  
ュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ  
ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセ  
キレイ ホオジロ アオジ (24種) (番外：ガビチ  
ョウ) 生憎の小雨、悩んだ末のスタートとなる。  
池のマガモ、カルガモを見ながら坂を上るが鳥影  
なし。しばらくしてカケスの声。その後高い小枝  
にエナガの群れを発見。傘で双眼鏡をかばいなが  
らの観察だったが、小雨降る中でのカケスの飛翔  
とエナガを多く見られたので満足。 (大坂幸男)

11月2日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加：51名 天気：快晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ  
オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カ  
ワウ アオサギ ダイサギ クイナ バン オオ  
バン イカルチドリ アオアシシギ イソシギ  
セグロカモメ ミサゴ トビ カワセミ アカゲ  
ラ チョウゲンボウ モズ オナガ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ  
ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ  
セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ アオジ  
(37種) (番外：ドバト) 公園北側も2016年4月の  
オープンに向け工事が進んでいる。暑い夏の後遺  
症か、カモの数が極端に少なく、楽しみにしてい  
たミコアイサの姿も見えない。しかし周辺の屋敷  
林では冬の小鳥が楽しませてくれた。 (橋口長和)

11月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加：29名 天気：雨

カルガモ カイツブリ キジバト セグロカモメ  
オオタカ コゲラ アカゲラ アオゲラ ハヤブ  
サ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナ  
ガ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハ  
クセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ  
ホオジロ アオジ (27種) (番外：ガビチョウ) 天  
気予報のとおり、歩き出してすぐに雨が降り出す。  
本降りになったころ、適当な木陰で鳥合わせをし  
て早目の終了とした。ほんの4日前の下見のとき  
には目立たなかったのに、紅葉やカラスウリの実  
が鮮やかな色に見えたのは、薄暗い天気の子?  
それとも秋が少し深まった? (榎本秀和)



●さいたま市緑区環境講演会開催

2月8日(日)14:00~16:00、緑区中尾のプラザイースト多目的ホールで、緑区環境講演会実行委員会(当会の楠見邦博監事が実行委員として参加)主催、当会などが後援した講演会が開催されました。

埼玉昆虫談話会の巢瀬司さん(農学博士、埼玉大学非常勤講師)が「見沼たんぼの生き物たちの近年の変化」をテーマに、見沼たんぼでの観測を基に、主に昆虫の出現数の推移を、気温の変化等の関連で講演されました。

参加者約 120 名でした。

●無償のボランティアと会員の力

当会主催探鳥会などのリーダー、様々な委員会や役員会、調査活動、会報発行、事務局など、当会の活動はすべて、無償のボランティアによって支えられています。大変ありがたいことです。

一方、特にボランティア活動に参加しなくても、会員でいてくださるだけで、力強



昨年 3 月 見沼たんぼゴミ拾い探鳥会

い支え手です。

少しずつ力を合わせることで、活動が続けられます。今後もご支援をお願いします。

●会員数は

2月2日現在 1,779 人。

活動と予定

●1月の活動

1月10日(土)『しらこぼと』2月号校正(海老原美夫、大坂幸男、佐久間博文、長嶋宏之)。

1月18日(日)役員会(司会:伊藤芳晴、探鳥会参加者名簿の保管・その他)。

1月19日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』2月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

1月24日(土)第20回I T委員会開催(浅見徹委員長ほか5名の委員が、現在、月に1回ほどのペースで開催。本会サイトへのアクセス内容を分析したところ、探鳥会予定や探鳥会報告がよく見られているとのこと。)

●3月の予定

3月7日(土) 普及部・編集部会。

3月14日(土) 4月号校正(午後4時から)。

3月15日(日) 役員会(午後4時から)。

3月21日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

編集後記

風はまだ冷たいけれどヒヨドリの声が甘くなっている。ムクドリのうちばしもオレンジ色が濃くなってきた。シラコバトもディスプレイフライトを始めている。木の枝をくわえたカラスも見かけた。いよいよ春が始まる。(山部)

しらこぼと 2015 年3月号(第 371 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4  
 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org  
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断  
 転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社